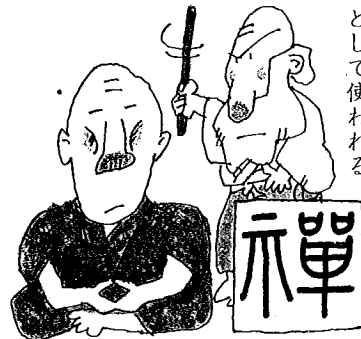


禪

おん ぜん

13画
イネ 禪 禪 禪 禪

なりたち 旧字体は禪。ただ一つの意味の單(専)と、神の意味の示(しめすへん)との会意形声字。天子がただ一人だけ行う祭りの名。今は梵語(フシ)の音訳語。禪那(ぜん)＝座禪により、真理を悟ることの略語として使われる。



禪

▼天子が天地山川の神を祭る祭り。

▼禪讓：天子が位を譲ること。この時、禪の祭りをを行うので禪讓という。

▼禪：座禪。座禪：静座して行う禪の修業のこと。

▼参禪：禪に参加するの意味で、師について禪を学ぶこと。禪宗：仏教の一派。インドの達磨(だま)が中国に伝えた。經典を主とせず、座禪によつて仏の道を悟るべきことを説く。日本には鎌倉(かまくら)初期に、栄西(えいせい)が臨済宗(りんじしゅう)、道元(だげん)が曹洞宗(そうどうしゅう)を伝えた。

▼よみかた 禪僧・禪寺



禪

漢字学習コーナー

漢字学習コーナー

ⅢⅢ ちらがなの基の漢字 ⅢⅢ

ⅢⅢ カタカナの基の漢字 ⅢⅢ

无ん	和わ	良ら	也や	末ま	波は	奈な	太た	左さ	加か	安あ
	為ゐ	利り		美み	比ひ	仁に	知ち	之し	幾き	以い
		留る	由ゆ	武む	不ふ	奴ぬ	川つ	寸す	久く	宇う
	恵ゑ	礼れ		女め	部へ	衿ね	天て	世せ	計け	衣え
	遠を	呂ろ	与よ	毛も	保ほ	乃の	止と	曾そ	己こ	於お

尔ん	和ワ	良ラ	也ヤ	末マ	ハハ	奈ナ	多タ	散サ	加カ	阿ア
	井井	利リ		三ミ	比ヒ	仁ニ	千チ	之シ	幾キ	伊イ
		流ル	由ユ	牟ム	不フ	奴ヌ	川ツ	須ス	久ク	宇ウ
	恵エ	礼レ		女メ	部ヘ	衿ネ	天テ	世セ	介ケ	江エ
	乎ヲ	呂ロ	与ヨ	毛モ	保ホ	乃ノ	止ト	曾ソ	己コ	於オ

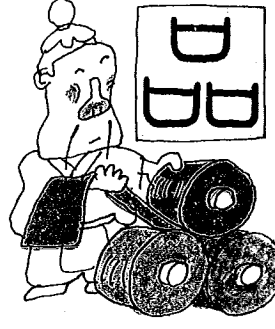
品

おん しな

3画

9画
一 口 口 口 口 口 口 口 口 品

なりたち 容器の形を表した口を三つ重ねた象形字。一つでは口と区別がつかないので三つ重ねた。従つて会意字とはいえない。品物を表した字。転じて、品分けする・品定めすることから、品等。また、人柄の意味にも用い



いみじくへい

▼品物。

物品：品物(何かの用途に当てる形有る物)。法律では不動産以外の有形物のこと。商品：商売の品物。商売のため生産した品物。

洋品：西洋風の品物。特に衣料・服飾類。元来は、西洋舶来品のこと。

用品：使用する品物。必要な品物。

備品：備え付けの品物。粗品：粗末な品物の意味で、人に物を贈る時の謙称。

▼作品。作品：芸術活動によつて制作されたもの。

▼人柄。人格。人品：人柄。品位：品格。品位：人柄の高さ。気品：気高い品位。上品さ。

品器

器

おん うつわ

4画

15画
口 口 口 哭 器 器 器

なりたち 旧字体は器。食器の形を表した口を四つ重ねた器と、犬との会意字。昔庶民が常食とした犬の肉を盛る皿を表した字。食器。転じて、道具。更に転じて、人物・才能・働き。



いみじくへい

▼器。

食器：食べ物を盛る器。容器：物を入れる器。入れ物。器物：①入れ物。②道具。道具。

▼道具。器械：道具。例 器械。器具：道具。また、簡単な機械のこと。

楽器：音楽を演奏するための道具。ピアノ・ギターなど。武器：戦闘に使う道具。刀・銃など。兵器。

利器：①よく切れる刃物。例 鈍器。②便利な道具。例 文明の利器。(文明が生んだ生活に便利な道具。)

▼働きや能力があること。器量：①才能。例 器量のあ

る人物。②顔立ち。例 器量

大器：人並みすぐれて才能のある人。大人物。